

第7回国語科授業改革セミナー in 札幌
本当に国語の授業がうまくなりたい人へ
教材研究！学習者研究！授業技術！
～国語科授業塾・読解編～

国語科授業づくりの全体像を知りたい。そんな声を聞くことがあります。子どもたちが活躍するような活動型授業は研究会で学べる。でも、国語科授業の9割を超える教科書で教える普通の授業の作り方がわからない。そんな声もよく聞きます。今回は、そんな普通の授業をちょっとだけ工夫しながらつくっていく、その勘所をわかりやすく解説します。ぜひお問い合わせの上ご参加下さい。

講師 堀 裕嗣・森 寛・山下 幸

日時：2009年7月25日(土) 9:10～16:50
会場：札幌市生涯学習センター「ちえりあ」(予定) / 参会費：3,000円
定員：30人

【 日 程 】

9:00～ 9:10 受付
9:10～ 9:15 開会セレモニー

**講座1 子どもに力をつける国語科授業システム
発言指導・話し合い指導！ノート指導！／授業技術初級編**

9:15～10:45 / 堀 裕嗣・森 寛・山下 幸
子どもたちにどのように発言させるか、話し合いを活性化させるにはどうしたらよいか、子どもたちに力がつき、思考が深まるノートをどう構成するか、模擬授業の中に適宜解説をまじえながら、わかりやすく提案します。

講座2 子どもの反応をどう見取るか／学習者研究初級編

11:00～12:30 / 堀 裕嗣・森 寛・山下 幸
一生懸命に考えた発問に対して、子どもたちに予想外の反応をされて困ったことはありませんか？
そんな状況に陥ってしまうのは、実は発問が悪いせいではありません。
発問をしたあとの授業の運び方がシステム化されていないことに原因があるのです。
この講座では、一つの模擬授業(山下幸先生・一斉授業・発問-指示型)を進めながら、適宜、堀先生と森先生とが授業を止めて、指導行為の意味・意義を解説していきます。

12:30～13:15 昼食・休憩

講座3 物語・小説の読み方／教材研究法初級編

13:15～14:15 / 山下 幸

講座4 物語・小説の読み方／教材研究法中級編

14:30～15:30 / 堀 裕嗣

講座5 発問づくり上達法／教材研究法上級編

15:45～16:45 / 森 寛

今回は物語・小説教材にしぼって、「教材のここに注目すればいいんだよ」というポイントについて、教材の構造・教材の叙述や描写・授業の発問づくりを通して提案します。

16:45～16:50 閉会セレモニー

□お申し込み方法は以下のとおりです□

以下の7点をお書きの上、葉書かFAXがEメールにて下記まで御連絡ください。

1. 氏名 / 2. 勤務校 / 3. 郵便番号 / 4. 住所 / 5. 電話番号 / 6. FAX番号 (ない場合には「なし」と明記) / 7. メールアドレス (ない場合には「なし」と明記)

対馬義幸 (つしま・よしゆき) 〒005-0005 札幌市南区澄川5条5丁目14-12
FAX (011) 812-4563 E-mail: yontussy34@K3.dion.ne.jp